



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和2年9月25日(金) 第23号

教育目標
☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武

外部講師を招いての放射線教育



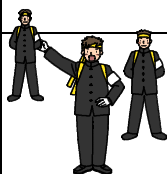
9月24・25日の両日、福島大学並びに環境省の方々を講師に迎え、全学級それぞれ1時間ごとの放射線教育プログラムの授業を実施しました。



この放射線教育は、子どもたち一人一人が「放射線や放射能、放射性物質について正しく学び、理解を深めること。また、日常生活において、よりよい生活を営むために必要な考えや行動の仕方を身に付けること。さらに、自己の生き方について考え、自主的・実践的な態度を育てること。」を主なねらいとしています。



低学年では、紙芝居「ほうしゃせんってなあに？」や霧箱の観察、放射線クイズなどを体験し理解を深めました。中学年では、座学での講義の他に、実習として校舎内のいろいろな場所の放射線量の測定を体験しました。高学年では、講義の後に実習として、5年生は「身の回りの放射線の測定」、6年生は「放射線から身を守る三原則（距離・時間・遮へい）」について学びました。放射線教育プログラムで学んだことを自分のものとして、将来のよりよい自己の生き方につなげられるようにと思います。



選手にエール! 陸上大会壮行会



23日昼の集会時に、来週30日に5・6年生が参加する町小学校陸上競技大会の壮行会を行いました。5・6年生の出場種目等の紹介の後に、4年生が応援メッセージと力強いエールをおくりました。



大会当日まで、自分の力を最大限発揮するための準備をしっかりとしておくこと。本番では力の限り最後までやり抜くこと。そして、鍛え合い励まし合った友やいつも支えてくれるおうちの人などに感謝できること。この3つのことは、陸上大会に限らず何かことがあるときに子どもたちに大事にしていってほしい事柄です。5・6年生の大健闘と当日よい大会日和となることを祈ります。